

平成26年度 林野公共事業の事業評価(事前評価)に係る技術検討会 議事概要

1 日時

平成26年7月18日 14:15～15:15

2 会場

北郷コミュニティセンター 会議室

3 出席者

技術検討会委員 谷本丈夫委員長、梅田修史委員、葛城奈海委員、
執印康裕委員

関東森林管理局 計画保全部長、治山課長、設計指導官、民有林治山係長、
東京事務所上席技術指導官、企画調整課監査官、監査係長

静岡森林管理署 署長、総括治山技術官

4 議事概要

(委員) 総事業費70億円で計画しているが、この予算内で対応可能なのか。事業計画が変更されれば、費用対効果分析の結果も変わるのではないかと。

(関東局) 総事業費については、現時点での想定額である。今後台風等により崩壊地の拡大などがあれば、事業計画を変更することとなり、事業費が増える可能性もある。事業計画の見直しがあれば、状況に応じて期中評価の際に改めて評価を行うこととなる。

(委員) 災害発生時は、マスコミも大きく取り上げるが、その後の復旧状況などについては情報がない状況。災害への関心が高い昨今なので、事業の取組状況のPRにも是非力を入れるべきである。

(関東局) 広報誌への掲載や現地見学会の開催など、PR活動に取り組んで参りたい。

(委員) 事業の実施に当たっては、過去の治山事業の技術や知見を活用しつつ、新たな工法を取り入れるなど、対象地区の特性に応じた事業実施に努められたい。